

## カンダーステッグ宣言 子どもや若者におけるいじめに対して

私たち、2007年6月8日～10日にカンダーステッグ(スイス)で行われた、いじめ被害に対する共同努力会議の参加者は、自らの長期的なコミットメントを約束し、健全な関係を促進しながら、子どもや若者におけるいじめや虐待を防ぐ決意をここに誓う。

### 考察

- ・ 今日、世界中のおよそ2億人の子どもや若者が仲間からいじめを受けている。
- ・ すべての子ども、すべての若者は、安全が確保され、尊重される権利がある。いじめは、この基本的な人間の権利に反するものである。
- ・ これらの権利が重んじられ、子どもたちの健全な発育や人としての行動が促進されるのを保証するのは、大人たちの道義的な責任である。多くの大人たちは、いじめ問題をより理解をし、より有効的に対応できる方法を求めている。
- ・ いじめは、社会の権力関係を乱用した攻撃で、複雑かつ深刻な問題であると世界的に認められている。それは、時代やジェンダー、文化によって異なり、最新技術の使用を含んだ多面性をもっている。
- ・ いじめの被害にあっている子どもや若者は、苦しんでいる。いじめや虐待による精神的問題は、幼少期に始まり、中にはその傷が一生続く人もいる。
- ・ いじめを助長するリスクや、いじめから保護する多くの要素が知られていて、いじめ防止計画は、数カ国で改良・実施されながら、良い成果をもたらしている。いじめは、精神的・身体的健康といった個人的問題に影響を及ぼすだけでなく、社会的発展や学校教育の業績などにもマイナスの影響を及ぼし、その影響は社会全体に及ぶ。いじめに関わるコストは、教育機関やヘルスケア、ソーシャルサービスおよび刑事司法制度にまで及び、様々な領域の技術革新や生産性に関わる。

いじめは、私たちすべてに関係があり、すべてに影響を与える。

### 対策

- ・ 子どもや若者の生活、仕事、また遊びのすべての場で、今すぐいじめをやめる。
- ・ 早急に、幼年期と青年期におけるいじめ防止の継続的な努力を始める。そのとき、知られているリスクや保護の要因に的を絞って、健全な社会的関係を促進するよう努める。
- ・ 健全な社会的関係を促進し、いじめを防ぐことができるように、子どもや若者の教育に関わるすべての大人たちを育成し、力づける。
- ・ いじめ対策や防止に関する政策または計画の作成は、子どもの年齢、ジェンダーおよび文化を適切に考慮し、家庭や仲間、学校やコミュニティとの関わりを重視した科学的な研究をもとにする。
- ・ 子どもや若者の権利を保証するために、いじめ対策や防止計画の成功を継続的に評価するアセスメントとモニタリングを実施する。

Translation by Mutsumi Sato.